

第 41 回協議会・第 47 回幹事会の議事要旨

沖縄県公共交通活性化推進協議会

令和 7 年 3 月 2 6 日（水）

1. 第 41 回協議会 議事要旨

日時：令和 6 年 9 月 10 日（火）10:00～12:00

場所：那覇市商工会議所ホール

報告

(1) 第 40 回協議会・第 46 回幹事会の議事要旨について

発言者	主な指摘・意見	回答
委員長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

(2) 基幹バスシステムの導入に向けた取組について

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球バス 交通 小川委員	9 月に実施されている路線バス無料化の社会実験は大変良い企画であり、好評もいただいている。今後も更なる需要喚起に向けて継続的な取組をお願いしたい。 - 西普天間は、交通渋滞が懸念されるため、バス専用レーンやソフト的な対策を合せた取組をお願いしたい。また、インダストリアル・コリドー地区の返還も見据えた場合の対策も課題として検討をお願いしたい。	(事務局) - 路線バス無料化の社会実験の継続的な取組については、今回の効果測定結果や財源等も踏まえながら検討していきたいと考えている。 - 西普天間の渋滞対策については、ハード、ソフトの様々な対策が必要と考えている。琉球大学においても時差出勤やその他取組が実施・検討されていると聞いている他、宜野湾市でも喜友名 23 号等の道路整備が進められていると聞いている。今後とも西普天間交通対策 W T や関係機関との連携を図りながら必要な対策に取り組んでいきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
バリアフリーネットワーク 親川委員	● 各市町村で実施しているコミュニティバスは、高速バス停の近くを通っていてもバスの時刻が合っていないため、そのあたり連携が進むよう取り組んで欲しい。 ● 普天間交差点は渋滞すると思うが、歩道橋を残すのであれば、高齢者や障がい者のことを考え歩道橋にエレベータを設置していただきたい。 ● 路線バスの無料化社会実験において、支援学校との連携はどのように進められているか教えていただきたい。	(事務局) ● コミュニティバスと高速バスの結節については、各勉強会等の中で市町村やバス事業者等とも何ができるか相談していきたい。 (沖総局開発建設部 関代理) ● 普天間交差点の改良に関しては、現在関係機関と調整しているところである。普天間交差点の歩道橋やエレベータ設置に関しては、宜野湾市とも調整しているところであり、決まり次第報告させていただきたい。 (事務局) ● 教育庁とも、どの学校でどのような形で実施するかを相談しているところである。今年度は支援学校でバスの乗り方教室を実施することについて、安全対策を十分踏まえながら、今後教育庁やバス事業者とも相談しながら、対応できるように進めていきたい。
池田会長	● インダストリアル・コリドーについては、何か回答があればお願いしたい。	(宜野湾市 又吉代理) ● インダストリアル・コリドーは、返還時期が明確でないため、長期的な計画の中で検討できればと考えている。喜友名23号線は、国道58号から左折利用になるが、今年12月の供用開始に向け取り組んでいるところである。

発言者	主な指摘・意見	回答
幸地委員	● 路線バス無料化については、このような機会を今後も増やしていただきたい。 ● 西普天間地域は、路線の改良や生活道路対策は重要であるが、もう少し大きなものも見据えると、琉球大学病院を中心として、中部エリアに皆が集える場所として、今後どのような地域として発展させていく目標や考えがあるのか伺いたい。 ● また、公共交通の利用促進を考える際も、企業をどう絡めていくのか、住民に対してどう意識付けしていくのか、高齢者、障がい者、妊産婦等の移動困難者に対してどう取り組んでいくのかも忘れずに頑張りたい。	(県企画部加賀谷代理) ● 中南部都市圏全体を見ながら、返還される跡地も活用し沖縄全体の振興に繋がるよう取組を進めているところであり、県、市町村含め関係者全てが連携しながら総合的な力を発揮できるよう、街づくりに向けた取組を進めさせていただいているところである。
池田会長	● 西普天間やコリドーを一体的に考えると、超長期的には普天間から北谷方面のルートが示されている鉄軌道構想はあるが、このエリアを考えると西普天間とコリドー地区を周遊するようなものがあるのも良いのではないかと思う。	

議事

(1) 令和5年度決算及び監査報告について

発言者	主な指摘・意見	回答
委員長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

(2) 沖縄県公共交通活性化推進協議会規約の改正（案）について

発言者	主な指摘・意見	回答
委員長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

その他意見

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄コンベンションビューロー 下地委員	- 観光客でレンタカーを利用しない人、免許も持っていない人もおり、その移動利便性確保に取り組んでいるところである。無料化の社会実験は、9月以外の夏場や冬場など含めた実施についても検討していただきたい。 - 観光客が荷物を持たずに移動できる手ぶら観光の取組を実験的に進めることになっている。引き続き観光客が荷物を持たずに移動しやすい環境整備に取り組んでいきたい。 - 宿泊税に関しては、観光客の利便性向上、多様な移動手段確保のための使途に対する意見もある。それが進めば従来の公共交通に加え、新しいシャトルバスの議論も進むと思われるので、今後連携していければと考えている。	(事務局) - 路線バスの無料化については、全市町村、経済団体、店舗、芸能・文化・スポーツ団体等様々な機関に周知し、皆さんの協力のもと実施しているところである。 - 実施の時期については、修学旅行や観光シーズン等の路線バス運転手の状況、財源等の関係もあるため、観光部局を含めた関係機関、経済団体、県民の皆さんとも密に連携しながら検討していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球バス 小川委員	手ぶら観光の実証実験に関する取組状況についてうかがいたい。	(沖縄局運輸部星委員) - 国内外では駅で荷物を預け空港まで手ぶらで行ける状況には以前からあるが、沖縄でも拠点サービスを化して、手ぶらで空港に行ける或いは手ぶらで路線バス等で観光できることが目指す方向かと思う。 - 一方、沖縄から帰る際には、買物した大きな荷物もあるので、物販を含めたシステムも一緒に考える必要がある。さらには、観光客が観光・買物・サービスを利用し感動やめぐり逢いによる体験満足度を高める戦略との連動・設計も重要となる。これらを含め沖縄の拠点整備やジャングリア等の動向も踏まえながら、皆さんと共に取り組んでいきたい。 - 来週、経済界各分野の皆さま含め、いつでもどこでも生活や観光の質を上げるための環境整備、そのための行動を共同実施会見で発表させていただく予定である。 - 本日議論のあったバスレーン、西普天等を含めて、全員がアクションしていき、皆が使いやすい、あらゆるジェンダーの方の満足度が上がるような政策と一緒に考えて進めていきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局開発建設部 関代理	● 基幹バス導入や公共交通の取組みに向け、開発建設部としても道路整備以外に、バスサービス等のための拠点整備を沖縄胡屋と名護で、検討をステップアップして取り組んでいるところである。 ● これら取組を加速するためには、自家用車に大きく依存した中では、様々な取組を合せて実施していく必要がある。このためまずは那覇空港自動車道の小禄道路の整備などにより那覇市内の車の交通量を減らすようつなげていきたい。 ● また各経済界や皆様方の協力のもと、公共交通を徹底的に活用する取組も合わせて実施することで自家用車の総量を減らして、公共交通を使いやすくし、まちづくりにも寄与していくことが重要である。そのためには長い目で見た時の施策と、目の前のところで賢くストックを使うこと施策も重要である。 ● 今、沖縄の各関係部署もしっかりと横の連携が取れており非常に前向きないい流れがきている中、開発建設部としてもしっかり取り組んでいくので、それぞれの関係者も連携してしっかり取り組んでいきましょう。	

以上

2. 第 47 回幹事会 議事要旨（案）

日時：令和 7 年 3 月 12 日（水）10:00～11:45

場所：那覇市商工会議所（中小企業振興会館）ホール

報告

(1) 第 46 回幹事会・第 41 回協議会の議事要旨について

発言者	主な指摘・意見	回答
幹事長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

(2) 基幹バスシステムの導入に向けた取組について

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局 開発建設部 渡久山幹事	- 協力型バスレーン実証実験について、候補 2（伊佐～北谷）があげられているのは唐突に感じる。 - これまで活性協では、基幹バスとして那覇～コザで取り組んでいるので、まずは候補 1（伊佐～胡屋）で実証実験を実施してみるのもあるのではないかな。 - 候補 3（浦添拡幅区間）は、8 車線で運用しているので、実証実験を行わなくても本格運用を実施する方向で良いのではないかな。 - P29 の路線名は、古波蔵～上間が国道 329 号から国道 507 号になっているので修正して欲しい。	(事務局) - 事務局としても、基幹バスルートである候補 1（伊佐～胡屋）を基本と考えていきたいところであるが、候補 1 は片側 2 車線となっている。 - 一方で、交通量と道路容量のバランスもあると考え、郊外部でのお願いベースのバスレーン展開可能性を探る意味で、片側 3 車線の候補 2（伊佐～北谷）を候補に挙げさせていただいたところである。 - 浦添拡幅区間に関するご意見もいただいたので、次年度以降、引き続き道路管理者の方々と協議・調整を進めていきたい。 - 路線名の記載は修正する。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局 開発建設部 具志堅幹事	● P29 の候補 2（伊佐～北谷）の記載の中に、候補 1 に比べ道路空間は相対的に広いとあるが、道路幅員は双方 30m であるため、修正をお願いしたい。 ● 国道 329 方向も中長期的には基幹バスの位置づけが示されている中で、国道 329 号が候補として示されず、候補 2（伊佐～北谷）が候補と挙げられているのは違和感がある。 ● 北谷区間は、県内でも交通量が非常に多く、夕方は北谷から 1 キロくらい渋滞している。一方、国道 329 号は、バイパス整備や交差点改良も進められ、交通量も転換しているようである。 ● 今後実証実験区間を検討していく中では、交通量や渋滞状況などしっかり調査して、選定の根拠を定量的に整理して欲しい。また、国道 329 号方面は、MICE や那覇市 LRT の検討もされているので、その辺りを含め情報共有しながら進めて欲しい。	（事務局） ● 記載内容は修正する。 ● 候補 2（伊佐～北谷）については、候補 1（伊佐～胡屋）が 4 車線で交通量と道路容量の関係から厳しい場合、6 車線の可能性の確認の意味合いもあり候補として挙げさせていただいたところである。 ● 次回協議会では、幹事会でいただいた意見をコメントで記載させていただき、次年度以降に国道 329 号方向も含め、データ整理を行っていききたい。 ● また、本協議会は県と 5 市村の枠組みもあるため、その辺りも確認しながら、どこまでやるべきか引き続き議論させていただきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局 開発建設部 具志堅幹事	● 既存の基幹バスルートで実施できれば良いと思う。また、浦添拡幅区間は早期実施が良いと感じるが、一方で新規の区間については、関係者や県民にもしっかりと説明できるように定量的に整理していただければと思う。 ● なお、北谷拡幅区間も今後用地が取得できれば工事が始まる他、宜野湾道路も高架橋等が想定されるので、情報共有させていただく。	
沖縄県バス協会 慶田幹事	● 協会には、バス運賃の領収書に関する問合せもあるので、勉強会中で進めていただければありがたい。	(事務局) ● 今後、勉強会の中で話をしていく。

(3) TDM（わった～バス利用促進乗車体験事業等）の取組について

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局 開発建設部 渡久山幹事	● 9月実施のわった～バス利用促進乗車体験事業について、バスへの転換状況は9月以降のデータも取得しているのか。 ● 既に3月なので、協議会には12月までなど可能な範囲でデータを示せば良い。	(事務局) ● データは取得しているが、季節変動があることから、対前年度と比較していく予定である。
沖縄県バス協会 慶田幹事	● わった～バス利用促進乗車体験事業については、感謝申し上げる。次年度以降も是非継続していただきたい。 ● P10下に交通量の記載があるが、浜川はどの辺りとなるのか。	(事務局) ● 国体道路入口の南側の交差点となる。
沖縄総合事務局 運輸部 崎濱幹事	● わった～バス利用促進乗車体験事業については、ODデータが取得できると良いのではないか。	(事務局) ● 9月の実験では、輸送面で課題も見えたことから、次年度はオフピーク時間を対象とした運賃半額バスを発行することで、運賃低減効果なども把握する方向で検討しており、その中ではOKICA等を活用しODデータを取得することを検討しているところである。

議題

(1) 規約の改正について

発言者	主な指摘・意見	回答
幹事長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

(2) 令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄県バス協会 慶田幹事	わった～バス利用促進乗車体験事業は、次年度半額で実施されるとのことだが、小児運賃も半額となるのか。	(事務局) - 次年度は、モニターを募集して半額パスを発行することを検討しているが、OKICAを使用する形になると、モノレールも半額となるので、ある意味乗継割引でバスとモノレールの連携が深まる可能性も考えられる。 - 一方、できるだけコストはかけない手法を考えており、大人が既存で半額になる障がい者割引等の仕組みを活用することを想定している。このため、半額パスの対象は中学生以上の大人運賃とすることを考えている。
沖縄総合事務局開発建設部 渡久山幹事	令和7年度予算の事業費は調査委託費と思うが、昨今業務の人件費も高騰している中、予算を増やすことは今後予定しているのか。昨年度同じ単価であれば、検討する項目は減ると思われる。	(事務局) 1)の活性協と2)のバスレーンに関しては密接にかかわってくるので、1)で厳しい場合は2)の中で柔軟に対応する等工夫しながら進めていきたい。

以上